

# 災害減免措置を受ける方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、災害減免措置を受ける場合

**手順1**  
7ページ参照

**手順2**  
8ページ参照

**手順3**  
12ページ参照

〇〇 税務署長 29年 2月 16日 平成 28 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書A		FA0112
住所 (又は居所) 〇〇市△△町X-XX-X	個人番号 XXXXXXXXXXXXXX	第一表 (平成二十八年度以降用)
氏名 国税 太郎	性別 男	本籍 本人
生年月日 3/48/1116	電話番号 XX-XXXX-XXXX	

  

(単位は円)	
<b>収入金額等</b>	<b>課税される所得金額</b>
給与 ⑦ 7140000	課税される所得金額 (⑤-⑥) ⑧ 2636000
公的年金等 ①	上の⑧に対する税額 ⑨ 166100
その他 ②	配当控除 ⑩
配当 ③	(特定増収等) ⑪
一時 ④	住宅借入金等特別控除 ⑫
一時 ⑤	政党等寄附金等特別控除 ⑬
合計 (①+②+③+④) ⑥ 5226000	住宅ローン控除 ⑭
<b>所得金額</b>	災害減免額 ⑮ 83050
給与 ① 5226000	復興特別所得控除 (3%×2.1%) ⑯ 1744
雑 ②	所得税及び復興特別所得税の額 (⑮+⑯) ⑰ 84794
配当 ③	外国税額控除 ⑱
一時 ④	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収控除 ⑲ 169500
合計 (①+②+③+④) ⑤ 5226000	所得税及び復興特別所得税の申告納税額 ⑳ 84706
<b>所得から差し引かれる金額</b>	<b>その他</b>
社会保険料控除 ⑥	配偶者の合計所得金額 ㉑
小規模企業共済等掛金控除 ⑦	所得・一時所得の源泉税及び復興特別所得税の源泉徴収控除の合計額 ㉒
生命保険料控除 ⑧	未納付の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収控除 ㉓
地震保険料控除 ⑨	申告期限までに納付される金額 ㉔ 00
寡婦、寡夫控除 ⑩ 0000	延納届出額 ㉕ 000
勤労学生、障害者控除 ⑪ 0000	
配偶者(特別)控除 ⑫ 0000	
扶養控除 ⑬ 0000	
基礎控除 ⑭ 0000	
⑥から⑭までの計 ⑰ 2589196	
雑損控除 ⑱	
医療費控除 ⑲	
寄附金控除 ⑳	
合計 (⑰+⑱+⑲+⑳) ㉑ 2589196	

**手順4**  
22ページ参照

**手順4**  
25ページ参照

**手順5**  
26ページ参照

**手順5**  
26ページ参照

マイナンバー(個人番号)を記入する必要があります。

明治・・・「1」  
大正・・・「2」  
昭和・・・「3」  
平成・・・「4」

該当する事項がある方のみ記入します。

還付される税金がある方のみ記入します。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから記入します。
- ◎ 申告書は、黒いインクのボールペンで、強く記入します。  
※ この記載例では、記入した部分を便宜上青色で表示しています。
- ◎ 申告書の該当する箇所は必ず記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- ◎ この記載例では、「平成28年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを示しています。詳細については、「平成28年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」を参照してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

災害減免措置を受ける方の記載例

(損害に関する事項)

損害の原因 火災 保険金などで補填される金額 1,220,000円  
 損害年月日 平成28年12月17日 (差引損失額) 1,380,000円  
 損害を受けた資産 家財 ※ 差引損失額が住宅や家財の価額の2分の1以上であるものとします。  
 損害金額 2,600,000円

手順1  
7ページ参照

手順2  
8ページ参照

25ページ参照

手順6  
27ページ参照

平成28年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書A

整理番号 FA0066

住所 〇〇市△△町X-XX-X  
 氏名 国税 太郎

⑥ 所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	〇〇産業株式会社	7,140,000	169,500
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額の合計			169,500

⑦ 所得から差し引かれる金額に関する事項

社会保険の種類	支払保険料	掛金の種類	支払掛金
⑧ 社会保険料控除		⑨ 小規模企業共済等掛金控除	
合計		合計	

⑩ 雑所得 (公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等

⑪ 住民税に関する事項

扶養親族の氏名	続柄	生年月日	別居の場合の住所
国税三郎	子	20.6.1	

⑫ 控除対象配偶者・控除対象扶養親族の氏名・住所

⑬ 損害に関する事項

損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類など
火災	平成28年12月17日	家財

⑭ 医療費控除

支払医療費	保険金などで補填される金額

⑮ 寄附金の控除

寄附先	寄附金

控除対象配偶者や扶養親族などのマイナンバー（個人番号）も記入する必要があります。なお、還付申告の方で、申告する所得が年末調整を受けた給与所得のみの場合で、配偶者（特別）控除や扶養控除に異動がないときは、第二表の⑫～⑭欄のマイナンバー（個人番号）の記入を省略できます。

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際のコストとは異なります。

【ご注意】

◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票（原本）」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。

(参考) 「給与所得の源泉徴収票」

平成28年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受ける 者	住所 又は 居所	〇〇市△△町×-××-×										(受給者番号)
												(役職名)
		氏名 (フリガナ) コクゼイ タロウ					名 国税 太郎					
種 別	支 払 金 額		給 与 所 得 控 除 後 の 金 額		所 得 控 除 の 額 の 合 計 額		源 泉 徴 収 税 額					
給与・賞与	内	千	円	千	円	千	円	千	円	千	円	
	7	140	000	5	226	000	2	589	196	169	500	
控除対象配偶者の有無等	控除対象配偶者の有無等	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)		16歳未満扶養親族の数		障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数				
有 配偶者	有 配偶者	特 定	老 人	其 他	16歳未満扶養親族の数	特 別	其 他					
○	○	1			1							
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額						
内	千	円	千	円	千	円	千	円				
	1,073	196	105	000	21	000						
(摘要)												
生命保険料の内訳		新生命保険料の金額	旧生命保険料の金額	介護医療保険料の金額	国民年金保険料の金額	国民年金保険料の金額	国民年金保険料の金額					
		25,000	35,000	90,000								
住宅借入金等特別控除の内訳		住宅借入金等特別控除(1回目)	住宅借入金等特別控除(2回目)									
控除対象配偶者		(フリガナ) コクゼイ リョウコ	氏名	国税 良子	個人番号	配偶者の合計所得	国民年金保険料等の金額	国民年金保険料等の金額				
控除対象扶養親族		(フリガナ) コクゼイ イチロウ	氏名	国税 一郎	個人番号	(フリガナ) コクゼイ ジロウ	氏名	国税 二郎	個人番号	(備考)		
		(フリガナ)	氏名		個人番号	(フリガナ)	氏名		個人番号			
		(フリガナ)	氏名		個人番号	(フリガナ)	氏名		個人番号			
		(フリガナ)	氏名		個人番号	(フリガナ)	氏名		個人番号			
		(フリガナ)	氏名		個人番号	(フリガナ)	氏名		個人番号			
未 成 年 者	外 国 人	死 亡 退 職 者	災 害 者	乙 種 傷 害 者	本人が障害者 特 別 其 他	寡 婦 特 別	寡 婦 特 別	勤 労 学 生	中途就・退職		受給者生年月日	
									就職 退職	年 月 日	明 大 昭 平 年 月 日	
									28		○ 48 11 16	
支 払 者	住所(居所) 又は所在地	〇〇区〇〇 ×-××-×										
	氏名又は名称	〇〇産業株式会社 (電話) ××-××××-××××										